

## 遍路で新入社員研修

東京のベビー用品会社  
下座業や写経、50キロ歩く



新入社員6名が遍路研修

ベビー用品大手のコンビ（東京都）の新入社員六人が研修の一環として、一番霊山寺から十二番焼山寺約五十キロを遍路した。

十一月十六日、霊山寺で参拝作法などの説明を受け、白衣に身を包み、地図を頼りに安楽寺まで歩き、宿泊。二日目は五時起床。トイレ掃除など下座業、お努めののち藤井寺までの九キロ余を歩き、再度安楽寺宿坊泊。畠田住職の法話や徳島共生塾一步会・新開善二理事長の講話を聞いた。三日目、下座業について写経。八時三十分、難関の焼山寺に向

けて出発。遍路転がしに苦戦しながらも各人が地図を頼りに歩きとおし、午後二時半ころ全員が無事到着。参拝後、笠井住職から法話を聞いて今回の研修を終えた。

途中、柳水庵では地元の前原久子さんらが温かいお茶や弁当でお接待、参加者を感激させた。

大竹賢さん（二六）は「想像以上に厳しい体験だったが、自分自身

を振り返るいい時間を過ごせた。できれば結願まで、一人で歩きたい」。また、コンビ人事部の金子課長は「二泊三日の短い遍路ではあったが、社員にはいろんな気づきがあり、何かをつかんだと実感した。多くの人に支えられているという感謝を忘れず、立派な社会人として成長してほしい。来年度以降も研修に取り入れたい」と、手応えに満足の様子。

この度の研修はいっぽ一步堂（大阪府・佐々木康夫代表）が企画し、徳島共生塾一步会と歩き遍路の会（山下正樹会長）が協力した。